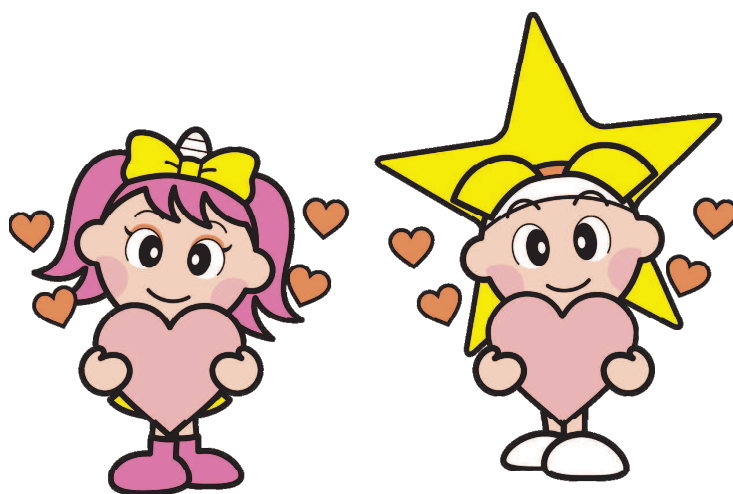


平成25年度 協働事業提案募集の概要



平成26年4月
岡山県備中県民局

目 次

1	協働事業提案募集制度の概要	・・・ 1
2	平成25年度提案募集の流れ	・・・ 1
3	平成25年度協働事業提案募集採択事業一覧	・・・ 3
4	協働事業提案募集採択事業の概要	
	No.1：こどもの安心・自信・自由を守るためのワークショップと講演	・・・ 4
	No.2：備中地域町並み保全と活性化事業	・・・ 8
	No.3：キビと薄荷による耕作放棄地の再利用化と低炭素化	・・・ 10
	No.4：備中の文化である綿で玉島の町を白く埋め尽くし、復活、伝承、 定着をはかる	・・・ 12
	No.5：都市住民との体験交流事業	・・・ 14
	No.6：おかやま備中暮らし支援プロジェクト	・・・ 16
	No.7：児島ジーンズ伝承 ～ものづくりの歴史と技術	・・・ 18
	No.8：備中高梁フィールドミュージアム事業 備中高梁の自然・歴史・ 文化を活用した体験型環境学習	・・・ 20
	No.9：荒廃茶園の復活と地紅茶のまち”高梁”の発信	・・・ 24
	No.10：自閉症療育セミナー及び治療教育相談会	・・・ 30
	No.11：高校生による備中で暮らすまちの匠(先人)への聞き書き	・・・ 32
	(参考) 平成25年度協働事業提案募集チラシ	・・・ 34
5	備中県民局協働事業審査委員会の概要	・・・ 38
6	協働研修の実施状況	・・・ 40
7	平成22年度～平成24年度における協働事業提案募集採択 事業の概要	・・・ 42

1 協働事業提案募集制度の概要

この制度は、多様化、複雑化する地域の課題やニーズ等に対して、行政が単独で対応することが困難になってきている中、特定非営利活動法人又はボランティア活動団体・市民活動団体等、社会貢献活動を行う営利を目的としない団体（以下「NPO等」という。）から、その専門性、柔軟性等を活かした事業の提案を募集し、NPO等と岡山県備中県民局（以下「県民局」という。）が協働することで、地域課題の効果的・効率的な解決を図ることを目的とし、実施するものである。

2 平成25年度提案募集の流れ

(1) 提案募集期間

平成25年1月7日（月）～2月14日（木）

(2) 応募事業数

40事業

(3) 第1次審査

備中県民局協働事業審査委員会（以下「審査委員会」という。）が、応募のあった40事業について書類審査を実施した結果、第1次審査通過事業として20事業を選考した。

(4) 第2次審査

平成25年5月2日（木）、備中県民局会議棟にて、第1次審査を通過した20事業について団体によるプレゼンテーションを実施し、審査委員会による審査の結果、11事業が採択された。

(5) 採択事業事務説明会、協定書の締結、事業実施等

平成25年5月15日（水）、採択された11事業の団体担当者に対し、事務の流れ等を説明した。

その後、県民局担当課との間で協議を行った上で協定書を締結し、それぞれ事業に着手した。

(6) 中間報告

平成25年10月～11月、実施事業の進捗状況について、審査委員会委員に対し、協働推進室担当者から個別に報告を行った。

(7) 事業結果報告

平成26年3月4日（火）、備中県民局会議棟にて、採択された11事業を実施した団体が、事業結果について、パワーポイント等を使用しプレゼンテーション形式で報告を行った。



3 平成25年度協働事業提案募集採択事業一覧

事業名	団体名	事業概要
こどもの安心・自信・自由を守るためのワークショップと講演	エンパワーメントMOMO	子どもがあらゆる暴力から自分を守るためのCAP(子どもへの暴力防止プログラム)ワークショップを実施する。また、有識者による講演会の企画及び開催を行う。
備中地域町並み保全と活性化事業	備中地域町並み保全・活性化会議	平成25年9月に開催される「全国町並みゼミ倉敷大会」を踏まえ、その検証や実践としてバスツアーやワークショップを行い、備中地域の更なるネットワーク化や地域資源の発掘等を行う。
キビと薄荷による耕作放棄地の再利用化と低炭素化	元倉敷未来計画	備中特産として脚光を浴びてきたキビと薄荷の作付け拡大と普及の為の活動(植え付け、収穫、販売支援など)を行う。
備中の文化である綿で玉島の町を白く埋め尽くし、復活、伝承、定着をはかる	NPO法人 備中玉島観光が'it'協会	耕作放棄地や観光コースに備中綿を植え、インターネットなどを通じ広報をすることで観光客を誘致する。また、出前講座・発表会などの開催により、綿文化の復元、伝承を行う。
都市住民との体験交流事業	矢掛町下高末棚田保全組合	都市住民と、田植え祭り、稲刈り、野菜収穫、お飾りづくり、餅つき等を通じて、体験交流を行う。
おかやま備中暮らし支援プロジェクト	子ども未来・愛ネットワーク	岡山へ保養・避難・移住を目指す人に対し、岡山県内の生活情報等を取りまとめた冊子等の制作及び情報発信、東北等における相談会における情報提供、交流体験プログラムの実施等を行う。
児島ジーンズ伝承 ～ものづくりの歴史と技術	児島ジーンズストリート推進協議会	ジーンズづくりの歴史と技術に関わる資料・情報を集め、整理・保管・展示する「児島ジーンズアーカイブ」を作成し、それを利用した「ジーンズ塾」の企画・開催を行う。
備中高梁フィールドミュージアム事業 備中高梁の自然・歴史・文化を活用した体験型環境学習	NPO法人 フォレストフォーピープル岡山	備中高梁の自然・歴史・文化を活用し、幼・保育園児、小中学生等を対象とした各種プログラムを実施するとともに、他地域におけるフィールドミュージアム事業の取組等を紹介するシンポジウムの開催を行う。
荒廃茶園の復活と地紅茶のまち”高梁”の発信	百姓のわざ伝承グループ	荒廃茶園復活応援団を募集し、活動するとともに、地紅茶のまち‘高梁’発信イベント～紅茶ウィーク～を開催する。
自閉症療育セミナー及び治療教育相談会	NPO法人 岡山県自閉症協会	新見市内において、専門家を講師に招いたセミナーの実施及び専門家による個別の治療教育相談会の開催を行う。
高校生による備中で暮らすまちの匠(先人)への聞き書き	「聞き書き」実行委員会	高校生が、地域で暮らす先人(匠)と出会い、その話を「聞き」、そのまま「書き」おこし、文章にまとめる。また、研修会・発表会の実施、成果物である冊子作成等を行う。

※ 事業概要については、採択時のものであり、その後の調整により変更となっている場合がある。

平成25年度協働事業提案募集による採択事業の概要 No.1

- 1 事業名 : こどもの安心・自信・自由を守るためのワークショップと講演
- 2 実施団体名 : エンパワーメントMOMO
- 3 協働担当課 : 保健課地域保健班

4 事業概要

子どもたちが本来持っている力をエンパワメントし、暴力から自分を守る具体的なスキルを身につけるとともに、大人達が子どもをサポートする方法を理解する予防教育としてCAPワークショップを実施する。また、子どもを取り巻く大人達が子どもの人権を正しく理解することにより、子どもたちが安心して生活できる地域社会を構築する事を目的とした講演会を実施する。

5 事業の流れ等

1) ワークショップ及び講演会の広報・説明会

(1) 広報

- ① 実施日 : 随時
- ② 概要

備中県民局管内各保健所及び備中県民局管内の全ての保育園、幼稚園、小学校、中学校に協働事業（ワークショップ、講演会）の案内を配布した。また、10月4日に開催された備中保健所管内愛育・栄養委員会合同研修会にて約90名の愛育委員・栄養委員にワークショップの案内を行った。

(2) 園長会、校長会での説明会

- ① 実施日 : 平成25年6月17日、6月18日
10月2日、10月7日、10月9日
- ② 概要

総社市、浅口市、井原市の園長会・校長会等において、CAPワークショップを紹介し、保育園・幼稚園、学校等での実施を呼びかけた。

2) ワークショップの実施

- ① 実施期間 : 平成25年7月～平成26年3月
- ② 概要

申し込みのあった保育園、幼稚園、学校等の実施希望団体と、事前にワークのねらい・内容等の協議を行い、子ども達や保護者、教職員を対象に

CAPワークショップを実施。また、備中保健所管内保健従事者研修会でCAPワークショップの企画を行い実施した。

	ワーク数	実施回数	人数(延)
子どもワーク	20回	32回	423人
内訳	小学生	8回	123人
	就学前	12回	300人
大人ワーク	8回	8回	138人
合計	28回	40回	561人

※就学前ワークは2日に分けて実施。

3) 講演会の実施

(1) 講演会「子どもという一人の人格と向き合う」

① 実施日：平成25年7月6日

② 概要

地域住民を対象に、NPO法人エンパワメント堺/ES代表理事である北野真由美子氏の講演を実施、17名の参加があった。

(2) 子ども人権セミナー

① 実施日：平成25年11月10日

② 概要

「子どもの心の声を聴こう～子どものいのちを守るために～」をテーマに、NPO法人SEAN副理事長事務局長遠矢家永子氏の講演を実施。地域住民24名の参加があった。

6 成果・効果

- ① 実施団体のエンパワメントMOMOの活動拠点である笠岡市以外にも、浅口市、井原市、新見市での新たな活動ができ、備中エリア全体に活動を広げることができた。
- ② 子どもの人権に対する意識を育て、子ども自身が暴力から自分を守るスキルを身につけるとともに、大人達が子どもをサポートする方法を理解することで、児童虐待防止効果が期待できる。
- ③ 保護者だけでなく教職員や地域住民といった子どもを取り巻く大人達が、子どもの人権について理解し意識する機会となり、子どもが健やかに育つ地域社会づくりの一助となった。

- ④ 備中保健所保健従事者研修会でCAPワークショップを取り入れたことにより、日々の地域保健活動に取り組む保健師自らが子ども達の権利について考える機会となった。子ども達の権利について地域全体で考える機会を増やしていく等、今後の保健活動に活かすことができる。

7 今後の課題等

- ① 保育園・幼稚園、学校では年間計画が決まっているため、事業実施機関内でのワークショップ実施を取り入れることが難しい状況があった。今後は、実施団体であるエンパワメントMOMOが、今回の事業により拡大したネットワークをもとに、さらに周知を図り活動を広げていく必要がある。
- ② 子どもの人権に対する意識を育て、子ども自身が暴力から自分を守ることができるように、継続した予防教育が必要であるが、事業を継続的に実施するためには財源確保の問題がある。

8 実施状況

	
<p>おとなワークショップ</p>	
	
<p>教職員ワークショップ</p>	<p>備中保健所地域保健従事者研修会 でのワークショップ</p>
	
<p>講演会「子どもという一人の人格と向き合う」</p>	
	
<p>子ども人権セミナー「子どもの心の声を聴こう～子どものいのちを守るために～」</p>	

平成25年度協働事業提案募集による採択事業の概要 No. 2

- 1 事業名 : 備中地域町並み保全と活性化事業
- 2 実施団体名 : 備中地域町並み保全・活性化会議
- 3 協働担当課 : 協働推進室企画班

4 事業概要

平成25年9月に開催した「全国町並みゼミ倉敷大会」を踏まえ、その検証や実践として現地視察、地元団体との交流、ワークショップ等を行い、備中地域における団体間の更なるネットワーク化や地域資源の発掘等を行う。

5 事業の流れ等

(1) 第1回現地視察及び交流会

- ア 実施日 平成26年1月25日（視察参加者約15名、地元団体参加者約10名）
- イ 場所 高梁市成羽町、川上町高山市、井原市高屋町等
- ウ 概要

成羽町等の町並みを視察するとともに、井原市高屋町では地元団体（高屋まちづくり推進協議会）の方と交流を図り、町並み保存についての意見交換を行った。

(2) 第2回現地視察及び交流会

- ア 実施日 平成26年2月15日（視察参加者約15名、地元団体参加者約10名）
- イ 場所 津山市城東地区等
- ウ 概要

平成25年8月に重要伝統的建造物群保存地区に選定された津山市城東地区の町並みを視察するとともに、城東地区の地元団体の方と交流を図り、町並み保存についての意見交換を行った。

(2) 第3回現地視察、講演会及び交流会

- ア 実施日 平成26年3月1日（視察参加者約15名、地元団体参加者約15名）
- イ 場所 倉敷市児島地区、下津井地区等
- ウ 概要

児島地区及び下津井地区の町並みの視察の他、前野まさる全国町並み保存連盟理事長が講演を行った。また下津井地区の地元団体の方と交流を図り、町並み保存についての意見交換を行った。

6 成果・効果

現地視察の実施により、県内の町並みの現状を知ることができ、また町並みの保存・活性化に取り組んでいる地元団体との交流の契機となり、団体感のネットワーク化を進めることができた。

7 今後の課題等

備中県民局における協働事業提案募集において、過去2回採択された事業であり、全国町並みゼミの開催を契機とした団体間のネットワーク化の更なる推進、事業の県全体への展開などが求められている。

8 実施状況

	
第1回現地視察（成羽町の町並み）	第1回交流会（井原市高屋地区）
	
第2回現地視察（城東地区の町並み）	第2回交流会（津山市城東地区）
	
第3回現地視察（下津井の町並み）	第3回交流会（前野理事長講演）

平成25年度協働事業提案募集による採択事業の概要 No. 3

1 事業名 : キビと薄荷による耕作放棄地の再利用化と低炭素化

2 実施団体名 : 元倉敷未来計画

3 協働担当課 : 協働推進室企画班

4 事業概要

備中特産として脚光を浴びつつあるキビと薄荷について、その作付け拡大と普及の為の活動（植え付け、収穫、商品開発、販売支援など）を行う。

5 事業の流れ等

(1) キビ栽培

- ・12軒（高梁10軒、長船2軒）の農家で栽培を行った。
- ・キビは猛暑のため不作となり、収穫量は想定を大幅に下回る180kgであった。

(2) 薄荷栽培

- ・約351平米の土地で栽培を行った。うち、総社約200平米、玉島約80平米は新規の栽培地である。
- ・薄荷の栽培は順調に行われ、8月には生葉で123kg、11月には乾燥葉で40kg等の収穫があった。

(3) 商品開発

ア キビ

キビ殻を利用し、昼寝枕（首巻き用）を試作した。

イ 薄荷

地元企業等と協働し、薄荷ジェラート、薄荷アロマキャンドル、薄荷アロマオイル等の商品開発に取り組んだ。

(4) 小冊子作成

- ・「薄荷栽培手帳」の改訂版を作成した。

6 成果・効果


キビと薄荷について、その栽培及び商品の開発研究を行うことにより、循環型社会、低炭素社会、自然共生社会等の実現を図り、通じて備中地域の地域振興に資することができた。

また、事業実施にあたっては、農家、地元企業、高校、また他の団体とのネットワークが生まれ、協働して事業を進めることができた。

7 今後の課題等

備中県民局における協働事業提案募集において、過去4回採択された事業であり、事業継続と共に、事業の発展、経済的独立など、さらなる展開が求められている。

8 実施状況

	
<p>薄荷植え付け（6月初旬）</p>	<p>薄荷刈り取り（7月下旬）</p>
	
<p>収穫した薄荷（7月下旬）</p>	<p>薄荷の選別作業（7月下旬）</p>
	
<p>協働事業結果報告プレゼンの際に持参した薄荷キャンドル</p>	<p>キビ殻を使用した枕の試作品</p>

平成25年度協働事業提案募集による採択事業の概要 No.4

1 事業名 : 備中の文化である綿で玉島の町を白く埋め尽くし、復活、伝承、定着をはかる

2 実施団体名 : 特定非営利活動法人 NPO法人備中玉島観光ガイド協会

3 協働担当課 : 協働推進室企画班

4 事業概要

耕作放棄地や観光コースに備中綿を植え、インターネットなどを通じ広報をすることで観光客を誘致する。また、出前講座・発表会などの開催により、綿文化の復元、伝承を行う。

5 事業の流れ等

- (1) 倉敷市玉島円通寺前の耕作放棄地に綿1000本を植えた。
- (2) 植樹祭(5月18日 50名)、鑑賞会(8月18日 80名)、収穫祭(9月22日 100名)を開催。
- (3) 備中綿写真コンテスト(応募点数60点)
- (4) 備中綿写真コンテスト表彰・備中綿発表会(10月6日 100名)
- (5) 備中玉島の綿であそぼう(1月25, 26日 198名)

その他

- ・地元小学校、高校等への出前授業を開催(計5カ所、6回)
- ・岡山商科大学附属高校と「備中綿だるま」を企画。
- ・綿繰り講座、リース・綿だるま講座を開催。
- ・東北へ綿の種20万粒、苗1万POTを支援。
- ・綿関連の作業を障害者施設に委託。
- ・綿のディスプレイの配付、ホームページなどで広報を行った。

6 成果・効果

ディスプレイの配付や小学校等への出前講座などを通し、玉島の綿の知名度が上がり、ガイドをした観光客数も年々増加している。また、県内外から問い合わせ、視察が来るようになった。

岡山商科大学附属高校と企画した備中綿だるまは、高校生が商品の展示・販売方法を競う「商い甲子園」に出品し3位入賞した。また、井原市とも情報交換を

行うなど、活動範囲を広げることができた。

学校等での出前講座やイベントを行い、綿文化の伝承に努めた。

7 今後の課題等

今後引き続き事業を継続・拡大していく上で、栽培経費や人材の確保などの問題点も見えてきた。次年度以降においてはコストダウンや商品販売等により採算が取れるよう工夫をするとともに、協力してくれる団体・個人を増やすよう取り組む。

また、玉島を訪れる観光客のさらなる増加を目指し、綿を全国にPRしていく。

8 実施状況

	
綿畑全景	地元小学校へ出前授業
	
収穫祭	写真コンテスト・発表会
	
綿だるま講座	備中玉島の綿であそぼう会場の様子

平成25年度協働事業提案募集による採択事業の概要 No.5

1 事業名 : 都市住民との体験交流事業

2 実施団体名 : 矢掛町下高末棚田保全組合

3 協働担当課 : 協働推進室振興班

4 事業概要

棚田をはじめとする耕作放棄地は、担い手不足により年々増加している。

豊かな自然を守るため、棚田オーナー制度（地域外住民から会費を徴収し収穫物等をオーナーに手渡す手法）を導入するとともに、都市住民が農業体験をしながら田畑を保全する交流事業を実施して地域の活性化を図った。

5 事業の流れ等

(1) 田植え体験

ア 実施日 平成25年6月2日

イ 概要

都市住民47名が参加し、組合が管理する水田で手植えを行った。昼食時、手打ちうどんの実演も行って交流した。

(2) 稲刈り体験

ア 実施予定日 平成25年9月8日

イ 概要

実施に向けて準備したが、台風による降雨により稲穂が濡れ中止した。

(3) 野菜収穫体験

ア 実施日 平成25年11月17日

イ 概要

都市住民20名が参加し、遊休地の畑で白菜、大根、さつまいもを収穫した。

(4) お飾りづくりと餅つき体験

ア 実施日 平成25年12月15日

イ 概要

都市住民16名が参加し、正月用のお飾りづくりを行った。杵でついた餅は焙烙（ほうろく：素焼きの土鍋の一種）で焼き交流した。

(5) きのことづくり体験

ア 実施日 平成26年2月16日

イ 概要

都市住民19名が参加し、しいたけ、ひらたけの菌打ちを行った。

(6) 広報活動

事業継続のためにはオーナー数の増加が必要であり、パンフレットを印刷し、新聞折込広告を岡山市、倉敷市の18,000戸に配布した。

6 成果・効果

担い手のいない耕作地の維持は、農業の維持に留まらず、景観の保全、活動を通じたコミュニティの活性化に効果があった。

7 今後の課題等

今年度のオーナー数を40とすることを目標に活動し、最終的には24(前年比5増)となった。今後も、岡山市、倉敷市などへの効果的な広報の必要がある。

また、活動に携わる組合員も高齢化が進み、新たな組合員の確保のため組合員にとっても魅力的な活動にしていく必要がある。

8 実施状況

	
<p>田植え体験</p>	<p>稲刈り体験前の田</p>
	
<p>野菜収穫体験</p>	<p>餅つき体験</p>
	
<p>きのこづくり体験</p>	<p>棚田風景(冬)</p>

平成25年度協働事業提案募集による採択事業の概要 No.6

1 事業名 : おかやま備中暮らし支援プロジェクト

2 実施団体名 : 子ども未来・愛ネットワーク

3 協働担当課 : 協働推進室振興班

4 事業概要

岡山へ保養・避難・移住を目指す人に対し、岡山県内の生活情報等を取りまとめた冊子等の制作及び情報発信、東北等における相談会における情報提供、交流体験プログラムの実施等を行う。

5 事業の流れ等

(1) 県主催の移住相談会への参加 (7月7日、1月18日)

東京での県主催移住相談会へ備中県民局ブースとして参加し、移住経験者の立場からの相談対応を行った。(相談件数43件)

(2) 独自相談会「おかやま暮らしお話し会」の開催 (10月13日、1月11日)

首都圏や東北在住者で、岡山への移住に関心のある方を対象とした情報交換会を東京で開催した。(参加者数29組)

(3) 「おかやま暮らしホームステイ」の開催 8月2日～4日 (高梁市宇治町)

2月9日～11日 (総社市昭和地区)

首都圏の家族連れらが移住体験を行った。(合計参加者数4組10名)

(4) 「おかやま暮らしアコレ展」の開催 (1月8日～31日)

岡山での暮らしの良さ、美味しさを岡山へ移住した方が作った品々で紹介する展示会を東京で開催した。

(5) 岡山の生活情報を取りまとめた冊子の作成等おかやま暮らしの情報発信

岡山の生活情報を取りまとめた冊子「おかやまパーパー」を作成し、移住に関心のある首都圏在住者を中心に配布したほか、HPやSNSを活用し、おかやま暮らしの情報発信を行った。

6 成果・効果

移住経験者によるニーズを捉えた事業実施や、相談者やホームステイ参加者からの事後の問い合わせに対する丁寧なフォロー等により、今回のプロジェクトを通じて、岡山県への移住4組や連絡を取り合うなど関係継続15組などの成果を上げた

(2月末時点で把握できたもの)。

また、ホームステイを受け入れた地域は、地域として継続して移住受入れに取り組むこととするなど地域活性化にもつながっている。

こうした積極的でモデル的な取り組みは、新聞等マスコミにもたびたび取り上げられた。

7 今後の課題等

団体としては、引き続き行政や地域と連携して事業実施できるよう模索しているところであるが、民間支援組織として継続的に活動を行っていくためには、今後、財源確保策を検討していく必要がある。

全国的にも移住先として岡山県の人気が高まっている中、県の施策としても移住促進に取り組んでいるところであり、行政としても、引き続きこうした民間支援組織と連携した取り組みを行っていく必要がある。

8 実施状況

	
移住相談会	お話し会
	
アレコレ展	ホームステイ

平成25年度協働事業提案募集による採択事業の概要 No.7

1 事業名 : 児島ジーンズ伝承～ものづくりの歴史と技術

2 実施団体名 : 児島ジーンズストリート推進協議会

3 協働担当課 : 協働推進室振興班

4 事業概要

児島のジーンズの評価の背景にある、繊維のまち児島の歴史と技術を地域住民も含め、多くの人に伝え未来に残すために、児島ジーンズアーカイブの作成、児島ジーンズ塾の企画及び開催。

5 事業の流れ等

(1) ジーンズアーカイブの作成

ジーンズづくりの歴史と技術に関わる資料・情報を集めて、整理・保管・展示する仕組み「児島ジーンズアーカイブ」を作成。

①ジーンズ職人写真展

ア 実施日 10月5日～11月4日

イ 概要

瀬戸大橋まつりにあわせて、児島ジーンズストリート周辺でジーンズの職人技を紹介する写真等資料展示を開催

②児島ジーンズストリートWEBサイト (<http://jeans-street.com>) に技術アーカイブコーナーを設け、児島発の新しい技術について継続的に情報発信する仕組みを構築。

③出張工場 (10/12-13) でジーンズクイズ (兼アンケート) を実施。

(2) 児島ジーンズ塾の企画及び開催 (9月24日～2月26日)

児島ジーンズアーカイブを教材にした、ジーンズづくりの歴史と技術を学べる「ジーンズ塾」を企画・開催。次の世代へ児島の歴史と技術を継承するため、地域の中高生を対象にした工業用ミシンの実技講習や、小学生を対象にした漫画教材の配布 (自主事業) を実施。地域住民や観光客等一般対象については、ジーンズストリート内で職人技を見学できる工場見学プログラムを作成。

6 成果・効果

岡山県の地域資源である「ジーンズ」の背景にある「ものづくりの歴史と技術」

を伝承する仕組みを、若い世代や観光客も巻き込んで、児島の地域が一体となって構築。

また、同時期に開催した地域の連携イベントと告知印刷物を共通化することで、経費を抑えるとともに、集客の相乗効果も得られた。

7 今後の課題等

今後は、事業継続のためのビジネスモデルづくりが課題となる。

「児島ジーンズアーカイブ」を「児島ものづくりアーカイブ」に発展させるとともに、有料でも参加したい「児島ジーンズ塾」を実現化し、事業を継続していくことを計画している。

8 実施状況

	
ジーンズ職人写真展	工場見学プログラム
	
児島 ★GOOD JOB作戦	出張工場
	
小学校出前講座	小学校出前講座

平成25年度協働事業提案募集による採択事業の概要 No.8

- 1 事業名 : 備中高梁フィールドミュージアム事業
備中高梁の自然・歴史・文化を活用した体験型環境学習
- 2 実施団体名 : 特定非営利活動法人フォレストフォーピープル岡山
- 3 協働担当課 : 環境課環境保全班

4 事業概要

当該団体がこれまで実施してきたプログラムを対象年齢別に8つのプログラムに体系化し、備中高梁の自然・歴史・文化の魅力を再構築し、地域全体をフィールドミュージアムに見立てた「体験型環境学習プログラム」として実施する。

「フィールドミュージアム」とは、その土地の歴史・風土・文化・自然等を“屋根の無い博物館（ミュージアム）”に見立て、その価値を再発見していく仕組みである。

本事業はこれにより、日本人が大切にしてきた伝統的な自然観を育み、参加者自身が「社会との繋がり」や「持続可能性」を意識し行動できるようになることを目指す。

5 事業の流れ等

(1) 夏の環境学習キャンプ

ア 実施日 平成25年8月10日、11日

イ 概要 小学生を対象に高梁美しい森において1泊2日で実施。

初日はマイ箸、マイカップ作りや火おこし体験、星座観察等を行った。2日目は森林インストラクターによる昆虫などの自然観察会を行った。

(2) 里山林の利活用を学ぶ（第1回キノコウォッチング）

ア 実施日 平成25年10月5日

イ 概要 宇治地区で実施。キノコの採取と鑑定を行い、キノコの発生する自然環境についても学習する機会とした。

(3) 里山林の利活用を学ぶ（第2回キノコウォッチング）

ア 実施日 平成25年10月12日

イ 概要 高梁美しい森で実施。キノコの採取と鑑定を行い、キノコの発生する自然環境についても学習する機会とした。

(4) 備中高梁トレイル

ア 実施日 平成25年11月16日

イ 概要 中国自然歩道を中心に、常連寺・愛宕山神社・備中松山城・城下町を巡るコースを設定し、各テーマ別（文化・歴史、植物、野鳥等）にガイドが同行し解説を行った。参加者はガイドの解説を聞きながら、約15kmのコースを走破した。

(5) 河川の利活用を学ぶ（治水と新たな取り組み）

ア 実施日 平成25年11月21日

イ 概要 講師に郷土史研究家松前俊洋氏を招き、倉敷市内に残っている水門や水路を訪れ、その歴史と仕組みについてや高瀬舟などの舟運や利水についての解説を行った。また、酒蔵や発電所の見学を行い、それぞれの施設から高梁川の豊富な水の利活用について説明を受けた。

(6) 備中高梁フィールドミュージアム・フォーラム

ア 実施日 平成25年12月4日

イ 概要 広島修道大学西村仁志氏の講演を実施するとともに、先進的な取組をしている企業、ESD国際会議担当者などを招いてシンポジウムを行った。

(7) 森の幼稚園

ア 実施日 平成25年12月5日

イ 概要 地域の幼稚園児等を対象に、高梁美しい森で実施。どんぐりについての話やどんぐりをポットに植え付ける作業を行った。

(8) 探鳥エコハイク

ア 実施日 平成25年12月14日

イ 概要 臥牛山周辺を会場に、この時期飛来する冬鳥について、その生態や野鳥を探す際のポイントを解説しながらハイキングを行った。

6 成果・効果

専門家による解説を行うことで、周辺地域住民も知らなかった地域の魅力を再発見することができた。また、地元住民を支援スタッフとして活用することで、中山間地域住民と参加した都市部住民との交流機会を得ることができた。加えて、学生をボランティアスタッフとして積極的に受け入れることで、参加した学生も、地域の繋がりや環境に対して「気づき」を得られる良い機会となった。

7 今後の課題等

プログラム毎に対象者を限定し、対象者がより参加しやすい日程を確保することや対象者に合った効果的な広報・情報発信を行うことで集客力の向上を図る必要がある。またスタッフの能力を向上させること及びボランティアスタッフへの事前レクチャーを徹底させる必要がある。

今後の展開としては、他地域との広域的な連携を強化し、中国自然歩道を活用したロングトレイルコースの設定や各種イベントへの相互参加を行っていく。また地域の教育機関と連携を強化し、プログラムへの参加を促すことで既存プログラムの充実化及び定着化を図っていく。

8 実施状況

	
<p>小学生エコキャンプ</p>	<p>キノコウォッチング</p>
	
<p>備中高梁トレイル</p>	<p>河川の利活用を学ぶ</p>
	
<p>備中高梁フィールドミュージアムシンポジウム</p>	<p>森の幼稚園</p>

1 事業名 : 荒廃茶園復活と地紅茶のまち“高粱”発信事業

2 実施団体名 : 百姓のわざ伝承グループ

3 協働担当課 : 農業振興課

4 事業概要

(1) 耕作放棄地となっている茶園を“美しい茶畑”に復活させる事業

荒廃している茶園を復活・再生するため、都市住民や大学生などの参加者を募り、「荒廃茶園復活応援団」を結成し、茶園の刈り込み、除草作業などを行う。また、お茶摘み体験、私だけの紅茶づくりを開催し、お茶農家との交流を図る。

(2) 地紅茶のイベントで高粱を、商店街を活性化させる事業

昨年が続いて2回目となる「高粱地紅茶まつり」を地元の商店街を会場に開催し、地元高校生や大学生に参加・協力を呼びかけてイベントを行い、商店街の活性化と備中高梁の観光の魅力アップにつなげる

5 事業実績

(1) 荒廃茶園の復活・再生事業

<第1回>実施日 : 平成25年6月22日(土)

参加人数 : 50名(応援隊 : 34名、地元農家 : 11名) 普及、市 : 5名

概要 : 荒廃茶園の枝の片付け、草取り、肥料まき、お茶摘み

<第2回>実施日 : 平成25年8月3日(土)

参加人数 : 42名(応援隊 : 24名、地元農家 : 15名) 普及、市3名

概要 : 荒廃茶園の草取り、お茶摘み、釜炒り茶、紅茶づくり体験、お茶の淹れかた教室

<第3回>実施日 : 平成25年9月21日(土)

参加人数 : 16名(応援隊 : 6名、地元農家5名) 普及、市5名

概要 : 荒廃茶園の草取り、地元農家との交流会、紅茶の淹れかた教室

(2) 地紅茶のまち“高粱”発信事業

ア 実施日：平成25年11月24日(日)

イ 概要：地紅茶カフェ、地紅茶セミナー、日本茶教室、地紅茶とスイーツ、高校生による各種パフォーマンスと体験コーナー（手話歌、備中神楽、書道パフォーマンス、コーラス、吹奏楽、消しゴムはんこ作り、フラワーアレンジメント他）

ウ 来場者数：約600人（他に高粱高校、高粱城南高校生、吉備国際大学学生を含めて180名）

6 成果・効果

(1) 荒廃茶園復活の作業は、暑い時期の作業のため参加者が集まるか心配していたが、お茶に関心のある人や大学生を中心に延べ100人以上の参加となり、作業がはかどった。今期は約10aの茶畑で台切りをして茶園再生の第1段階を実施することが出来た。収穫（お茶刈り）は3～4年後になる予定である。

<参加者のアンケートから>

- ・ 初めて茶畑に入って新鮮な感動だった。草取りの作業は大変だったが、みんなで作業することは楽しかった。来年もまた参加したい。
- ・ お茶摘み、紅茶づくりは貴重な経験となった。
- ・ 美味しいお茶の淹れ方を始めて知った。
- ・ 普段はペットボトルのお茶しか飲まないが、きちんと淹れたお茶はとても美味しかった。
- ・ お茶農家からも若い人たちがたくさん茶畑に来てくれて元気が出た。

以上のような、うれしい意見を聞くことが出来た。

荒廃茶園の再生は数年間継続して取り組んでいく必要があり、これからも若い人たちや都市住民の人にも応援をしてもらい、美しい茶畑を復活させていきたい。

(2) 地紅茶のまち“高粱”発信事業では、昨年の全国的な規模のイベントから今年は小さな地紅茶まつりとなった。地元の高校生、大学生と駅前商店街を舞台に、いろいろな催しを若いパワーで元気なイベントを開催することができた。昨年が続いて2回目の参加というお客さんも多かった。

＜参加者のアンケートから＞

- ・ 高校生の頑張っている姿が良かった。いいイベントだった。ずっと続けて欲しい。
- ・ 今回、地紅茶を初めて飲んでどれも美味しかった。もっと国産紅茶を宣伝する意味でも継続するほうがいい。
- ・ 地紅茶が外国の紅茶と比べて飲みやすい。
- ・ もっといろんなお菓子（ロールケーキやクッキーなど）も用意して欲しかった。
- ・ インディアンマト焼きそばが美味しかった。
- ・ 地紅茶セミナーでは一本のお茶の木から緑茶、紅茶、ウーロン茶が生まれることを初めて知った。
- ・ 日本茶教室では日本茶の淹れ方を初めて勉強してとても参考になった。など、東京、広島県など県外からの参加者もいて、うれしい声を聞いた。また、昨年実施した「地紅茶列車」にまた乗りたいという要望もあった。

7 今後の課題

- (1) 荒廃茶園復活では、どうしても暑い時期の作業となり、市外から参加してもらうと、作業のスタート開始の頃に気温が高く、トラブルが出やすくなる。開催日程の調整と時間帯を検討する必要がある。
- (2) 高粱地紅茶まつりの開催については、学校行事との関係から開催日程、企画内容の決定が遅れ、広報・PRが不十分だった。そのためか、参加者は当初目標の1000人には届かず、約600人となった。次回は早めの広報活動により、更に多くの参加者を集めたい。

8 実施状況

(1) 荒廃茶園復活再生



[参加者に説明をする(6月22日)]



[作業風景(6月22日)]



[作業が終わって記念写真(6月22日)]



[となりの茶畑で少しお茶摘み(6月22日)]



[手揉み茶の体験(8月3日)]



[美味しい日本茶の淹れ方教室(8月3日)]



[ボンネットバスの前で記念写真(8月3日)]



[参加者全員で意見交換(9月21日)]

(2) 第2回高梁地紅茶まつりの様子



[受付付近の様子]



[高校生の地紅茶カフェ]



[カフェのお客様]



[フォックスフェイスのコンテスト]



[書道パフォーマンス]



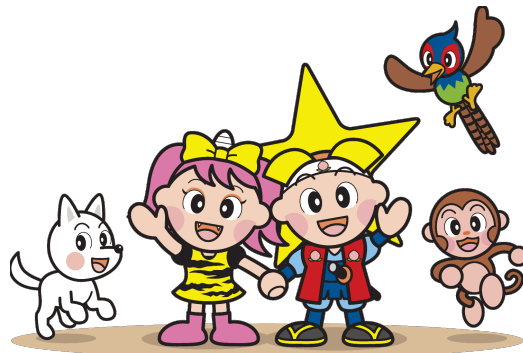
[地紅茶特別セミナー]



[高梁高校、高梁城南高校生の吹奏楽]



[日本茶教室]



平成25年度協働事業提案募集による採択事業の概要 No.10

1 事業名 : 自閉症療育セミナー及び治療教育相談会

2 実施団体名 : NPO法人 岡山県自閉症協会

3 協働担当課 : 福祉振興課障害福祉・保護班

4 事業概要

一般市民をはじめ自閉症児（者）を持つ保護者や支援者の方々を対象に、自閉症・発達障害に対する理解を深めていただくと共に、日頃より自閉症・発達障害児（者）に関して家庭や職場、地域で抱えている様々な問題に対する解決方法を提供する事を目的として実施する。

5 事業の流れ等

9月（中旬）ポスター、チラシの配布

10月1日 参加者募集開始（締切：自閉症療育セミナー11月14日）

（〃 : 治療教育相談会 10月31日）

11月（上旬）治療教育相談会申込者の個々の相談内容に対応できる相談員の振分

11月17日 自閉症療育セミナー及び治療教育相談会を開催

（場所：新見市学術交流センター）

セミナー参加者153名、相談会8組、託児サービス利用14名

6 成果・効果

県南西部に比べ発達障害に関するセミナー等の開催が少ない県北西部での開催により、この地域での発達障害に対する理解や支援の機運がより一層高まった。


また、治療教育相談会により発達障害未診断の相談者が児童精神科受診に繋がった。

7 今後の課題等

県北西部での発達障害に関するセミナー等の開催要望は従来から多く寄せられている。また、今回のセミナーは内容が「小学校就学時の支援」が主となり中学校以降の内容が省略されたことへの不満がアンケートに寄せられた。

そのため、セミナーや相談会の開催を増やすことにより幅広い年代の要望に応える必要がある。

8 実施状況

	
<p>会場入口</p>	<p>セミナー</p>
	
<p>セミナー</p>	<p>相談会</p>
	
<p>相談会</p>	<p>託児</p>

平成25年度協働事業提案募集による採択事業の概要 No.11

1 事業名 : 高校生による備中で暮らすまちの匠(先人)への聞き書き

2 実施団体名 : 「聞き書き」実行委員会

3 協働担当課 : 協働推進室企画班

4 事業概要

高校生が、地域で暮らす先人(匠)と出会い、その話を「聞き」、そのまま「書き」おこし、文章にまとめる。また、研修会・発表会の実施、成果物である冊子作成等を行う。

なお、今年度の参加高校は、笠岡工業高校6名、岡山龍谷10名、矢掛高校6名及び倉敷中央高校3名であった。

5 事業の流れ等

(1) 「聞き書き」研修会

ア 実施日 平成25年6月7日、6月8日

イ 概要

講師に澁澤寿一氏を招き、「聞き書き」を行う高校生を対象に、聞き書きの方法などの研修を実施した。

(2) 「森聞き」上映会&トークセッション

ア 実施日 平成25年7月30日

イ 概要

聞き書きを行う高校生を取材したドキュメンタリー映画「森聞き」の上映会を実施するとともに、聞き書き経験者である高校生から、体験談を聞いた。

(3) 聞き書きの実施

ア 実施日 平成25年7月～9月

イ 概要

高校生が先人の所へインタビューに赴き、聞いた内容を文章に起こしていった。

(4) 「文章構成」研修会及び「発表の仕方」研修会の実施

ア 実施日 平成25年10月5日、10月12日、12月7日

イ 概要

聞き書きに参加した高校生に対し、教諭や地元アナウンサーが研修を行った。

(5) 聞き書きフォーラム(成果発表会)

ア 実施日 平成25年12月21日

イ 概要

澁澤寿一氏の講演を実施するとともに、高校生が実施した聞き書きについて

て、文章にまとめたものの発表を行ったり、感想を述べるなどした。

6 成果・効果

高校生が、地域に根ざして生きている先人（匠・名人）から、知恵や技術、ものの考え方を「聞き書き」し、その匠・名人なりの工夫や知恵、技術が加わった人生観を、先人の言葉だけで文章にまとめ、若い世代へとつないでいく作業であり、高校生もお年寄りから話を聞く機会が少なくなっている中、その地域の文化・伝統や技を守り継承していくためにも、良いきっかけとなった。

7 今後の課題等

実際に聞き書きを実施する生徒数は、先生の負担等から限界があるため、事業の地域への広がりを図るなど、効果的な事業啓発を検討する必要がある。

また、事業を継続的に実施するためには、財源確保の問題がある。

8 実施状況

	
「聞き書き」研修会	「聞き書き」研修会
	
「森聞き」上映会&トークセッション	「森聞き」上映会&トークセッション
	
聞き書きフォーラム（成果発表会）	聞き書きフォーラム（成果発表会）

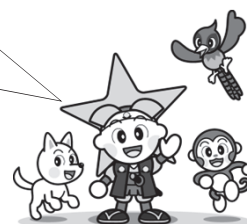
皆さんの力が
必要です!

岡山県備中県民局

協働事業提案募集

岡山県備中県民局では、地域の諸課題を解決し、個性豊かで活力ある『快適生活県おかやま』を実現するため、NPO、市民活動団体、町内会、ボランティア団体など多様な主体との協働の取り組みとして、『協働事業提案募集』を実施します。

皆さんの自由な発想と情熱で、『備中の地域づくり』に参加しませんか？



募集テーマ

◎指定テーマ

備中県民局管内の様々な諸課題や、今後取り組むべき事柄について、7つの具体的なテーマを設定しています。この中から選択したテーマに沿って、事業を提案してください。

◎自由テーマ

指定テーマには該当しないものであっても、協働のテーマとしてふさわしく、かつ必要・効果的と認められる事業であれば、提案してください。

詳しくは次ページを見てね!

応募方法等

所定の応募用紙に必要事項を記入し、必要書類を添付のうえ、郵送、持参、FAX、Eメールいずれかにより右記提出先まで提出ください。

応募様式及び詳細な内容は、「平成25年度岡山県備中県民局協働事業提案募集要項」に掲載しています。

要項・様式は、右記問い合わせ先か備中県民局管内各地域事務所地域総務課で配布するほか、備中県民局ホームページからもダウンロードできます。

備中県民局HP [はこちら](#) ↓

http://www.pref.okayama.jp/soshiki/kakubu.html?sec_sec1=12

募集期間

平成25年 1月7日(月)
～ 2月14日(木)
(最終日消印有効)

提出・お問い合わせ先

〒710-8530 倉敷市羽島1083
岡山県備中県民局 協働推進室 企画班
TEL : 086-434-7003(直通)
FAX : 086-426-9305
E-mail : bichu-chisei@pref.okayama.lg.jp

応募資格

岡山県内に事務所及び活動場所を有する団体で、次の要件を全て満たす団体とします。また、複数団体の応募も可能とします。
なお、個人は対象としません。

1. 県民局管内で事業実施できること。
※県民局の管内は、倉敷市、笠岡市、井原市、総社市、高梁市、新見市、浅口市、早島町、里庄町、矢掛町の7市3町です。
2. 提案事業の遂行に必要な組織・人員を有し、県民局と協働し、提案事業を最後まで適正に実施でき、実績報告が提出できること。
3. 組織の運営に関する規則（規約、会則等）又はこれに準ずるものがあること。
4. 予算・決算を適正に行っていること。
5. 原則として、1年以上継続して活動していること。
（任意団体が特定非営利活動法人化した場合は、任意団体活動歴を含む）
6. 宗教活動や政治活動を主たる目的とした団体ではないこと。
7. 特定の公職者や政党を推薦し、支持し、反対することを目的とした団体ではないこと。
8. 暴力団又はその構成員の統制下にある団体ではないこと。

応募できる事業数

**1団体あたり2事業まで応募できるものとします。
(ただし、自由テーマを除き、同一テーマでの2事業の応募は不可とします。)**

審査・選考及びプレゼンテーション

1. 審査、選考は、学識経験者、NPO関係者等から構成された「備中県民局協働事業審査委員会」が行います。
2. 第一次審査(書類選考)で選考された提案については、第二次審査(プレゼンテーション/最終選考)を実施いたしますが、当日ご参加いただけない場合は、審査の対象外となります。

協働事業協定書の締結(事業化の決定)

第二次審査で選考された事業を提案された団体は、事業内容、役割・責任分担や経費負担等について県民局の担当部所と協議を行い、県民局との合意を得た場合に事業化が決定することとし、合意内容を記載した協定書を締結します。

※第二次審査で選考された段階では、まだ事業化の決定ではありませんので、ご注意ください。

事業の流れ(スケジュール)

公募期間 → 第一次審査 → 第二次審査 → 事務説明会 → 関係部所 → 協定書の締結 → 事業 → 事業評価
(書類選考) (プレゼンテーション) の開催 との調整 事業開始 実施
H25.1.7~2.14 3月下旬 5月2日(木) 5月中旬 H26年3月

募集事業の条件

協働実施する事業は、「募集テーマ」に沿ったもので、次の条件の全てを満たす事業とします。

1. 公益的、社会貢献的の事業であり、広く社会的課題の解決が図られること。
2. 県民局と協働することにより、相乗効果が得られる事業であること。
3. 地域住民のニーズが認められ、実施により地域住民の満足度が高まる事業であること。
4. 特定の地域を対象とする事業については、先進性、先駆性が認められ、他の地域への波及が期待できるものであること。
5. 予算見積りが適正であり、必要最小限の経費となっていること。
6. 原則として、平成25年度の単年度事業であること。
(終期：原則として、平成26年2月末)

※ 対象外とするもの

次のいずれか1つに該当する事業は対象外とします。

- ① 営利を目的とする事業
- ② 特定の個人や団体のみが利益を受ける事業
- ③ 施設等の建設及び整備を目的とする事業
- ④ 岡山県から他の予算により助成を受けている(受ける計画のある)事業
- ⑤ 国、他の地方公共団体及び他団体からの助成等を受ける計画のある事業で、その助成が受けられなかった場合、事業の執行ができなくなる(事業縮小、資金調達ができない)事業

備中県民局の経費負担

1. 事業費のうち県民局が負担する経費は、提出された事業計画書や収支予算書により事業毎に判断することとします。
(選考されても申請額どおり認められない場合もあります。)
2. 県民局の負担する経費の上限は、1件につき**200万円**とします。
3. 実施する事業の執行に直接必要とする経費を負担するものとし、事業と関わりのない経費(団体の管理運営費等)は対象外とします。
4. 県民局が事業経費を負担した場合において、事業実施後に余剰金が発生した場合は、返還を求めます。

提案事業等の公表

1. 第二次審査で選考された提案団体の名称及び提案事業の概要について、県民局のホームページ等により公表します。
2. 提出された書類等については、原則として情報公開の対象となります。

指定テーマは以下に掲げる7項目です。このテーマに沿って事業提案をお願いします。

なお、指定テーマ以外であっても、協働のテーマとしてふさわしく、かつ必要・効果的と認められる事業であれば、自由テーマとしてご提案ください。

① 子どもと若者が健やかに育つ社会づくりの推進

備中県民局管内の各地域の現状と課題を踏まえ、子どもと若者が健やかに育つ社会づくりを推進するために効果的な事業の企画・運営

例えば・・・

- ・子どもや若者が触れ合う居場所づくりの企画・運営
- ・地域で子どもが参加するボランティア活動や社会貢献活動の企画・運営
- ・子どもや若者が事故や犯罪に巻き込まれないための取組に対する企画・運営

など

② 備中の地域・伝統文化の発信

H22に岡山県で開催された国民文化祭により盛り上がった文化に対する気運の醸成を捉え、備中地域の個性ある文化等をクローズアップし、広く情報発信を行うことにより、地域の文化振興を図る事業の企画・運営

例えば・・・

- ・備中地域の「まちなみ」保存活動団体のネットワークづくり及びネットワーク等を活かしたイベント、研修会等の企画・運営
- ・備中地域の個性ある産業、歴史、伝統、食等、地域の特色を踏まえ、内外に情報発信することができるシンポジウム等の企画・運営
- ・特定地域を対象とするのではなく、備中の広域的エリアを舞台とすることにより、「文化で備中を結ぶ」ことが期待される取組
- ・管内各地の関係者と連携しながら、幅広く県民参加を図ることができる企画・運営

など

③ 中山間地域の活性化の推進

過疎化や高齢化により集落機能の低下や生活交通網の弱体化などが進む中山間地域において、地域を活性化するための効果的な事業の企画・運営

例えば・・・

- ・小規模高齢化集落の草刈りやお祭りなど、集落の共同事業を応援する「おかやま元気！集落応援団」を増やすための事業の企画・運営
- ・都市部から中山間地域への移住者を増加させるための交流会やツアー等の企画・運営
- ・中山間地域と都市部の若者がつながる実践型インターンシップの企画・運営

など

④ 産業・観光の振興

備中地域の「強みを活かした産業競争力の強化」や「雇用の確保」等、産業の振興に効果的な事業の企画・運営

例えば・・・

- ・就職促進のため、就職に必要な知識、技能を習得させるための研修や、受講者の適性とニーズに即した訓練等の企画・運営
- ・着地型観光や産業観光のスポットやルートの開発及び定着させるための事業の企画・運営

など

⑤ 体験型環境学習事業の実施

大気・水環境・地球温暖化等の問題に対し、森林との関係や里山、里海が果たす役割、ライフスタイルの見直しの必要性等、環境保全意識の高揚や環境改善への取組の推進につなげるための、小学生等を対象にした体験型環境学習の企画・運営

例えば・・・

- ・汚水処理場や自然エネルギー関連施設(メガソーラー、バイオマス等)、エコ住宅等の施設見学事業の企画・運営
- ・河川の源流地域の森林や里山、里海をフィールドとして自然体験学習ができるエコツアー事業の企画・運営
- ・ソーラークッカーや自転車発電などの機材を使った省エネルギー体験事業の企画・運営
- ・地球温暖化や気象に関する実験、星空観察等の事業の企画・運営

など

⑥ 耕作放棄地の解消

地域の農業者の活動に加え、都市住民や企業、NPO法人、教育機関、行政機関等、地域内外の多様な人々の支援等を活用した耕作放棄地の解消・地域活性化モデルの立案及び実証

例えば・・・

- ・食糧自給率向上や地産地消、担い手育成等を目的に、耕作放棄地を活用した持続可能な営農モデルの企画・実践
- ・耕作放棄地の発生防止策、地域の活性化方策の検討・実証
- ・消費者や企業等、多様な主体による地産地消や食育推進など、地域活動の場としての耕作放棄地の活用に向けた企画・運営

など

⑦ 鳥獣害に強い地域づくり活動

農業所得の減少や生産意欲の減退につながっている野生鳥獣の被害に対し、鳥獣害防止対策支援チームの設置や、被害発生集落における防護や捕獲の技術指導及び生息状況や捕獲鳥獣の利活用に関する調査、研究事業の企画・運営

例えば・・・

- ・防護柵等の設置講習会の開催、被害実態に応じた診断と処方箋づくりなど、鳥獣被害防止技術の普及活動
- ・新たな狩猟者を確保するための地域への広報活動、講習会や狩猟実践研修の開催
- ・獣肉流通ルートや流通量の把握、利活用事例の収集、新商品開発等の活動
- ・外来生物(ヌートリア、ジャンボタニシ、アライグマ等)の生息調査把握及び駆除活動講習会の開催

など

5 備中県民局協働事業審査委員会の概要

(1) 協働事業審査委員会（以下「審査委員会」という。）

協働提案募集事業の審査・評価を行うとともに、備中県民局の協働事業全般についての意見、助言を求める目的で、平成22年度に設置したものの。

(2) 平成25年度審査委員会委員

- ・松畑 熙一（委員長） 中国学園大学・中国短期大学 学長
- ・岡崎 順子 岡山県立大学保健福祉学部 教授
- ・高平 亮 岡山県ボランティア・NPO活動支援センター 所長
- ・古賀 桃子 ふくおかNPOセンター 理事長
- ・鶴 理恵子 吉備国際大学社会学部 准教授
- ・下山 高司 倉敷市市民協働推進部次長（兼 市民活動推進課長）

(3) 平成25年度における審査委員会等開催状況

ア 第1回審査委員会

- 日時 平成25年5月2日(木) 9:00～17:00
- 場所 備中県民局会議棟第4～第6会議室
- 主な内容

平成25年度協働事業提案募集における第2次審査(団体によるプレゼンテーション)を実施し、応募のあった40事業のうち、第1次審査を通過した20事業について審査した結果、11事業を選考した。

イ 協働事業提案募集制度の協議

- 日時 平成25年10月～11月
- 場所 審査委員会委員勤務先等
- 主な内容

- ・平成26年度協働事業提案募集制度の改正について
- ・平成25年度協働事業提案募集制度における採択事業の進捗状況について

ウ 平成26年度協働事業提案募集制度第1次審査(書類審査)

- 日時 平成26年2月～3月
- 場所 審査委員会委員勤務先等
- 主な内容

平成26年度協働事業提案募集により応募のあった45事業について、第1次審査（書類審査）を各審査委員会委員が実施し、審査の結果、○事業が第1次審査を通過した。

エ 第2回審査委員会

○日時 平成26年3月4日(火) 13:00～16:30

○場所 備中県民局会議棟第1～第3会議室

○主な内容

平成25年度に協働事業提案募集制度により選考された11事業について、事業実施団体が結果報告プレゼンテーションを実施し、審査委員会委員が講評等を行った。



第1回審査委員会の様子



第2回審査委員会の様子（その1）



第2回審査委員会の様子（その2）



第2回審査委員会の様子（その3）

6 協働研修の実施状況

(1) 第1回研修

平成25年度における第1回の研修として、まちづくり協議会を設立し、街なみ景観向上、空家整備、イベント開催等、様々な活動を行い、地域を盛り上げている「NPO法人いんしゅう鹿野まちづくり協議会」を訪問し、協議会の担当者から話を伺うとともに、現地視察を行った。

日 時	平成25年11月13日(水) 8:30~17:30
場 所	鳥取県鳥取市鹿野
参加者	備中県民局職員、市町職員、自治会役員、その他団体職員等 25人
視察先	いんしゅう鹿野まちづくり協議会
内 容	協議会副理事長である小林清氏による現地説明等
状 況	○研修の様子






(2) 第2回研修

協働に関する数多くの講演を行っている I I H O E (「人と組織と地球のための国際研究所」) 代表の川北秀人氏を招き、講演及びグループワークを行った。

日 時	平成26年1月23日(木) 13:30~16:00
場 所	備中県民局会議棟1階
参加者	県職員、市町職員、NPO職員、その他団体職員等 約55人
講 師	川北 秀人 (I I H O E 「人と組織と地球のための国際研究所」代表)
内 容	○講演 「自治を回復し、まち・むらの課題を、まち・むらの力で解決するために ～ 協働と総働の基礎を再確認する～」 ○グループワーク
状 況	○研修の様子



7 平成22年度～平成24年度における協働事業提案募集採択事業の概要

※ 事業概要については、採択時のものであり、その後の調整により変更となっている場合がある。以下同じ。

(1) 平成24年度採択事業

事業名	団体名	事業概要
育ちをサポート！お出かけ育メン育女応援団	NPO法人 保育サポート「あい・あい」	「地域の子育て支援の場」と「団塊の世代や学生等の活躍の場」をつなぐため、ニーズの把握や事前研修、スケジュール調整等を行うプロジェクトの開始及び運営
備中の伝統である綿で玉島の町を白く埋め尽くす事業(チャレンジ2)	NPO法人 備中玉島観光ガイド協会	昔から玉島地区で栽培されていた「綿」の栽培等を通じ、環境客の誘致や障害者施設への作業提供、インターネットでの発信を通じて地域の活性化を図る。 ・綿の苗(6,000本)、綿の種のセット(約10粒入り、4,000セット)の配布 ・玉島地区の小学校に対する綿の栽培の出前講座の実施 ・身体障害者施設に対し綿関連の作業を発注することでの就労支援
「高粱地紅茶まつり」の開催と備中宇治茶の生産振興	百姓のわざ伝承グループ	備中宇治茶を使用した「高粱紅茶」のアピールと産地活性化を目的とした「高粱地紅茶まつり」の開催 ・日時 平成24年11月23日(金)～24日(土) ・場所 高粱市文化交流館 等 ・内容 シンポジウム、地紅茶カフェ、地紅茶列車の運行 等
備中地域町並み保全と活性化事業	備中地域町並み保全・活性化会議	備中地域の北部(新見)、中部(高粱)、南部(倉敷、総社、笠岡等)の伝統的景観を保つ町並みや集落を探访し、その地区で活動する団体と交流することで、町並みの保存と活性化を図る。
低炭素グリーン生活推進モデルプロジェクト	元倉敷未来計画	備中地域を中心に栽培が盛んだった「キビ」「ハッカ」の復活、活用による地域活性化を目的に各商品の生産プロセスと商品化の確立を図る。 ・耕作拡大運動と原料の供給の確保 ・キビ枕等、関連商品の開発及び農業体験の紹介等による内外への発信
地域に新たな仕事とつながりを生み出す「着地型観光プログラム×地域インターンシップ」	NPO法人 吉備野工房ちみち	今まで実施してきた着地型観光プログラム「みちくさ小道」を活用して、大学生が主体となって着地型観光プログラムを企画開発することにより、地域を担う若者の人材育成と地域資源を活用した起業支援、新事業開発支援を目的とする。

事業名	団体名	事業概要
草間台地の優れた自然環境や多様な生物をテーマとした環境学習・エコツアー	草間台エコミュージアム推進協議会	草間台地の自然・歴史遺産・文化・産業などの貴重な資源を生かし、他地域との交流、連携の促進や情報発信による地域活性化を図る。 ・貴重な生物(ウスイロヒョウモンモドキ等)の勉強会、観察会等の実施
GREENDAY2012 ～企業と世代をつなぐ持続的環境教育～	GREENDAY2012実行委員会	環境保全をテーマとして、高梁川全流域で大人から子どもまでの幅広い年代を対象にした講座を開催し、人材の育成と環境に関する地域課題の解決を目的とした事業を展開する。 <予定している講座例> ・ワシ・タカ観察会(高梁市:6歳以上対象) ・神郷の森「森林間伐作業体験」(新見市:18歳以上対象)等
草間台地の特産品・ソバの栽培による耕作放棄地の解消とキノコの原木栽培による眠っている山林資源の活用	草間台エコミュージアム推進協議会	草間台地の自然・歴史遺産・文化・産業などの貴重な資源を生かし、他地域との交流、連携の促進や情報発信による地域活性化を図る。 ・ソバの種まきから収穫までを都市住民とともに実施する。 ・キノコ栽培について、原木伐採から植菌までを都市住民とともに実施する。 ・採れたソバとキノコについて料理等を実施し、食文化を楽しむ。
自閉症教育セミナー及び治療教育相談会	NPO法人 岡山県自閉症協会	県西部や北部での開催が少ない自閉症療育関係のセミナーについて、備中局管内で実施し、自閉症に対する理解や支援の気運が醸成され、かつ個別の相談会により日常的に抱えている困難や不安の軽減を図る。
地域ハートフル大作戦 ～ひきこもり回復支援事業～	NPO法人 エブリイハート	ひきこもりに関する啓発・広報活動を展開することで、当事者や家族を掘り起こし、地域住民の理解と支援を要請する。 <具体的内容> ・ひきこもりを題材とした映画の上映等による啓発活動 ・ひきこもり支援者の専門的研修の実施 ・ひきこもり家庭訪問及び出張相談 等
高校生による備中で暮らすまの匠(先人)への聞き書き	「聞き書き」実行委員会	地域の文化、伝統を継承していくことと、若い世代の地域への意識高揚のため、高校生が地域で活動している「お年寄り(先人・匠)」から知恵や技術、考え方を「聞き書き」し、文章として残す事業

(2) 平成23年度採択事業

事業名	団体名	事業概要
気づく つなぐ 地域で支える 心の健康 ～うつ病 私たちが出来ること～	にいみフォーラム	うつ病を克服された著名人を招いての基調講演と医師や専門家によるパネルディスカッションを中心としたフォーラムの開催
被害者の声を聴いてください ～シンポジウムとコンサート～	(社)被害者サポートセンターおかやま	性被害者と支援員によるシンポジウムと自らが被害者であるバンド「PANSAKU」によるライブ等の開催
新見御殿町歴史探訪 ”土下座まつり拝観”と”まち歩き”そして”歴史講談”	関重爾史会	新見の「土下座まつり」の拝観とまつりの舞台となる新見御殿町の「まち歩き」に加え、新見藩やまつりの由来、丸川松隠にまつわる「講談」をプログラムとするイベントの開催
「備中玉島を綿で白くする」事業	NPO法人 備中玉島観光ガイド協会	昔から玉島地区で栽培されていた「綿」を復活させ、観光客の誘致と地域の活性化を図る ・綿の「種」と「苗」の配布 ・玉島地区の小学校(11校)への栽培指導や出前講座の開催 ・備中綿鑑賞会や収穫祭、写真展の開催 等
低炭素グリーン生活推進モデルプロジェクト	元倉敷未来計画	備中地域を中心に栽培が盛んだった「キビ」と「ハッカ」の栽培を行い、市街地内耕作放棄地の解消と商品化による地域活性化を図る ・耕作拡大への活動 ・キビの枕、ハッカのカクテル等を中心にした商品化 等
GREENDAY2011 ～2011国際森林年と高梁川の持続的な環境保全活動宣言～	GREENDAY2011実行委員会	2003年から開催されてきた「GREENDAY」の活動を総括し、いままで活動を実施していない哲西町をメイン会場として、国際森林年の活動理念と連携をとったイベント等の開催 ・メイン会場:きらめき広場(新見市哲西町)でのイベント開催 ・倉敷、総社、高梁、笠岡を会場とした環境関連産業及び市民活動の人材育成を目的とした連続セミナー「GREENDAY COLLEGE」の開催

事業名	団体名	事業概要
みんなでつくる！高梁川流域のエコ指標	(財)水島地域環境再生財団	地域の自然環境の状況把握と環境意識の醸成を目的とした「エコ指標」の作成と、作成した指標を活用したシンポジウムの開催
出張型集団一時預かりサポートネットワーク形成事業	NPO法人 ふれあいサポートちやていず	イベント、講演会、講座等の会場での一時預かり事業のネットワークを形成するため、備中地域各市町において乳幼児の一時預かりのサポートのできる人材を育成する <ul style="list-style-type: none"> ・一時預かりサポーター養成講座の開催 ・出張一時預かりポータルサイトの立ち上げ 等
虐待防止のための連続ワークショップ事業 「わたしだってほめられたい～自分を好きになるワークショップ～」 「スターペアレンティグ ～親と子どものよい関係を築くために～」	NPO法人 子ども劇場笠岡センター	子育てを楽しむ親を増やす機会として、県民局管内5箇所連続ワークショップを開催する <ul style="list-style-type: none"> ・わたしだってほめられたい～自分を好きになるワークショップ～の開催 ・スターペアレンティグ～親と子どものよい関係を築くために～の開催
高校生による備中で暮らすまちの匠(先人)への聞き書き	「聞き書き」実行委員会	地域の文化、伝統や技を守り継承していくことと、若い世代の地域への意識高揚のため、高校生が、地域で活動している「お年寄り(先人・匠)」から、知恵や技術、考え方を「聞き書き」し文章として残す事業
CAP(子どもへの暴力防止プログラム)の実施	エンパワメントMOMO	子どもたちをあらゆる暴力から守るために、アメリカで開発されたCAP(子どもへの暴力防止プログラム)を、ワークショップ、研修会形式で開催する

(3) 平成22年度採択事業

事業名	団体名	事業概要
新米ママ・パパのための子育て安心講座	たんぼぼの里	子育て中のママ、パパを対象に、子育てに関する様々な知識や情報を取得するための講座を開催 (講座内容例) ・子どもの身体の発達と病気 ・子どもの栄養と食事 ・子どもの遊び 等
スクラップブックフェア2010	岡山スクラップブッククラブ	スクラップブックフェア2010の開催 ・作品展示、体験コーナーの設置 ・ワークショップの開催 ・スクラップブック用品の販売 等
低炭素グリーン生活推進モデルプロジェクト	元倉敷未来計画	・農家、不動産、まちづくり専門家によるPTの立ち上げ ・IT技術による耕作放棄地のDB化、耕作等の情報提供、新規営農者の居住推進 ・生ゴミを堆肥化する設備の活用によるCO2低減に寄与
”じぶんチェンジ”ツアーin備中	NPO法人 リスタート	・7月………具体的なプログラム作成、募集の開始 ・8～12月…県内5カ所(倉敷、笠岡、総社、高梁、浅口を想定)で少人数の移動型研修会を実施 ・1～2月…アンケート分析、事業報告書作成
子育てママが参加する公園遊びをつくるダンボールファクトリープログラム	遊び場を考える会	講座及びワークショップの開催 ・講座「幼児期の外遊びと冒険遊び場」の開催 ・ワークショップ「どんな遊び場？」でプランづくり ・「ダンボールファクトリー」で屋外遊び場を作る